

決算

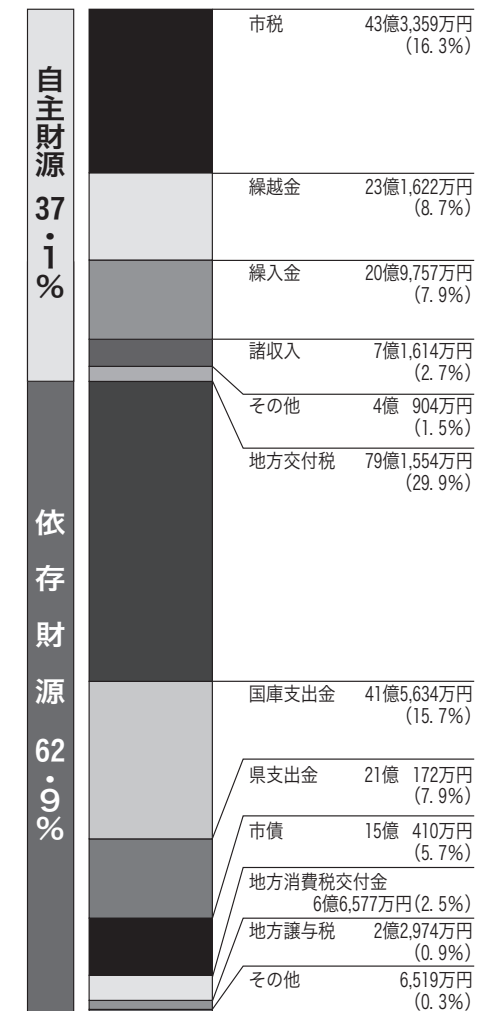
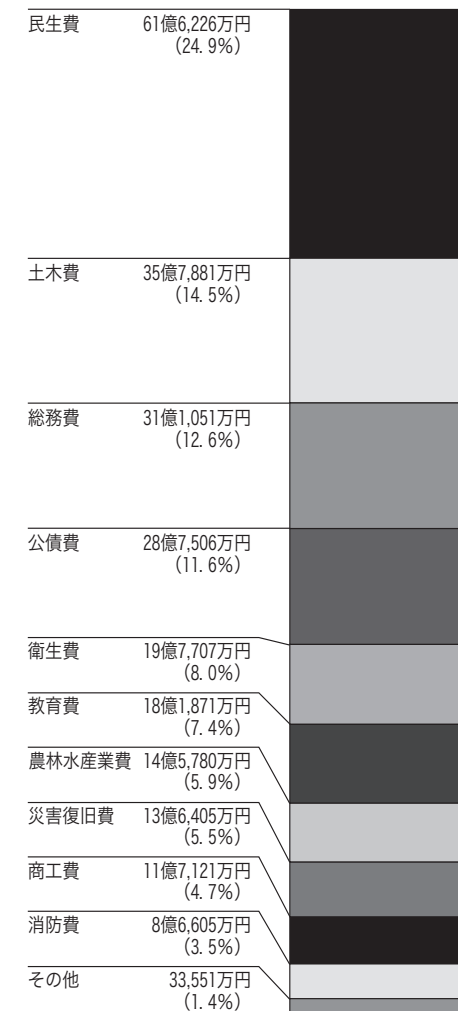
市の財政は、皆さんから納めていただいた税金や国からのお金などで成り立っています。平成27年度も貴重なお金を有効に使えるよう、やり繰りしました。今回は市議会9月定例会で認定された平成27年度決算のあらましをお知らせします。
※金額は1万円未満を四捨五入しています

17億9,392万円

黒字

一般会計歳出
247億1,704万円

一般会計歳入
265億1,096万円



自主財源 37.1%

依存財源 62.9%

自主財源は約37%

「一般会計」は福祉や教育、土木など市の基本的な仕事のための会計です。平成27年度の一般会計決算は、歳入（収入）が265億1096万円、歳出（支出）が247億1704万円、17億9392万円の黒字になりました。歳入で最も多いのは、国から配分された地方交付税の79億1554万円。財源別に見ても、地方交付税などの依存財源が62.9%を占め、財源の大半を国や県からのお金に頼っている状況です。

特別会計の状況

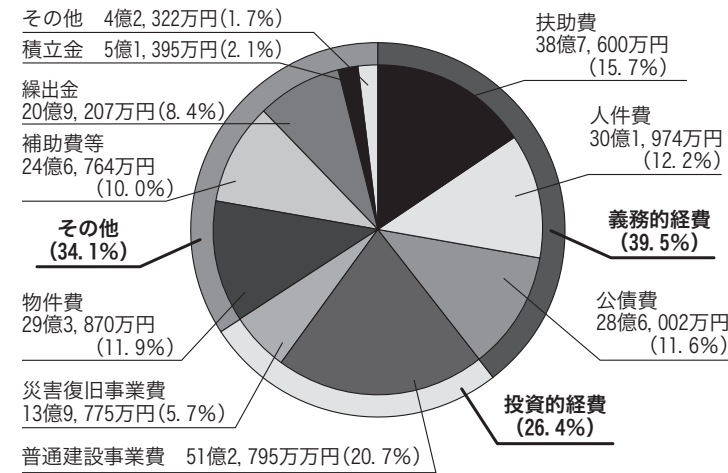
市の会計には一般会計のほか、特定の事業や収入・支出を一般会計と区別して処理する「特別会計」と、事業で得られる収入で経費をまかなう独立採算制を原則とした「公営企業会計」があります。市の特別会計には、国民健康保険や公共下水道、後期高齢者医療などがあります。収入の合計は72億9265万円、支出の合計は73億3960万円。国民健康保険の給付などを行うための事業勘定が赤字になりました。

土木費などが増

歳出では、防災公園整備など復興関係事業の進捗に伴い土木費が前年度に比べて増えたほか、資源物の範囲拡大や久慈医療圏地域医療情報連携基盤構築事業により衛生費も

大きく増加しました。東日本大震災からの復旧・復興をはじめとする主要な事業に重点的に財源を充てながら、事業の見直しと経費の節約を図り、貴重な財源を全体でやり繰りしました。

性質別歳出



特別会計

会計名	収入額	支出額
土地取得事業	2,061万円	2,061万円
国保(事業勘定)	50億9,156万円	51億7,537万円
国保(直診勘定)	1億9,359万円	1億9,359万円
後期高齢者医療	2億9,733万円	2億9,713万円
介護サービス事業	4,791万円	4,791万円
魚市場事業	1,340万円	1,340万円
漁業集落排水事業	2億8,822万円	2億8,567万円
公共下水道事業	13億4,003万円	13億592万円
合計	72億9,265万円	73億3,960万円

公営企業会計 水道事業会計

区分	収入額	支出額
収益的収支	7億6,551万円	7億6,094万円
資本的収支	5億9,702万円	8億2,692万円

大事なお金を大切にやりくりしています

財政の健全化を執行中！

財政の健全化を判断する2つの指標を紹介します。

■実質公債費比率 14.2%
これは、毎年続けて入ってくる収入のうち、何%が借金返済に使われたかを示すもので、過去3年間の平均値です。この数値が18%以上になると、借金に国の許可が必要になります。
※県内の市平均 12.2%・久慈市 26年度 14.6%

■経常収支比率 91.9%
これは、市が毎年固定的に支払う人件費などの経費を、市税や地方交付税など毎年続けて入ってくる財源で割った数値です。この数値が80%を超えると財政は苦しいといわれています。
※県内の市平均 90.2%・久慈市 26年度 87.8%

平成28年度予算の進み具合

■一般会計

歳入名	予算額	収入額	執行率
市税	39億5,990万円	26億2,580万円	66.3%
地方交付税	72億5,857万円	53億5,853万円	73.8%
国庫支出金	61億4,780万円	15億9,368万円	25.9%
県支出金	27億8,495万円	1億2,057万円	4.3%
市債	38億1,158万円	0万円	0.0%
その他	60億616万円	25億9,552万円	43.2%
合計	299億6,896万円	122億9,410万円	41.0%

歳出名	予算額	支出額	執行率
総務費	43億7,860万円	9億4,500万円	21.6%
民生費	65億9,673万円	26億4,390万円	40.1%
農林水産業費	22億6,143万円	7億4,011万円	32.7%
土木費	48億1,265万円	4億5,907万円	9.5%
教育費	20億5,280万円	7億9,371万円	38.7%
災害復旧費	29億5,451万円	6億1,580万円	20.8%
公債費	29億1,471万円	14億3,913万円	49.4%
その他	39億9,753万円	15億9,270万円	39.8%
合計	299億6,896万円	92億2,942万円	30.8%

■特別会計

会計名	予算額	支出額	執行率
土地取得事業	2,050万円	1,017万円	49.6%
国保(事業勘定)	53億7,950万円	22億9,772万円	42.7%
国保(直診勘定)	2億1,345万円	7,868万円	36.9%
後期高齢者医療	3億289万円	6,552万円	21.6%
魚市場事業	1,720万円	849万円	49.4%
漁業集落排水事業	4億5,090万円	1億6,280万円	36.1%
公共下水道事業	16億1,030万円	4億5,069万円	28.0%
合計	79億9,474万円	30億7,407万円	38.5%

■公営企業会計・水道事業会計

区分	予算額	支出額	執行率
収益的支出	10億3,912万円	1億6,294万円	15.7%
資本的支出	13億7,558万円	2億4,319万円	17.7%

用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します

【収入の関係】

▶地方交付税…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するために国から配分されるお金です。国が徴収する所得税や法人税、消費税などがもとになっています

【支出の関係】

- ▶民生費…福祉や子育てを支援するために使うお金
- ▶土木費…道路や公園などの整備や補修に使うお金
- ▶総務費…市役所の庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などに使うお金
- ▶公債費…市の借金返済などに使うお金
- ▶衛生費…環境の保全や健康を増進するためなどに使うお金
- ▶教育費…学校や生涯学習、スポーツなどを推進するために使うお金
- ▶農林水産業費…農林水産業の振興などに使うお金
- ▶災害復旧費…災害によって被害を受けた施設や道路などを復旧するためのお金
- ▶商工費…商業や観光を促進するために使うお金
- ▶消防費…消防や災害対策のために使うお金
- ▶義務的経費…支出が義務付けられているお金
- ▶投資的経費…道路や漁港、建物などを整備するために使ったお金